

旧吉富小カフェでほっと

通信制高生徒ら 地域とつながる場に



若者と地域がつながる場を目指す
「吉富D-School」のカフェ
(南丹市八木町・旧吉富小)

府内の通信制高校に通う生徒たちが6日、南丹市八木町の旧吉富小の教室を活用してカフェを開いた。同市や京都市から参加した10代から20代の7人が、地域住民とコミュニケーションを取り合いな

がら接客や調理の仕事を学んだ。昨秋、亀岡市で学習塾を運営する会社が発起人の若者向けに地域住民と交流を深める場にしようと、廃校となった同小でフリースクール「吉富D-School」を発足。先月からは府内の通信制高校に参加を呼び掛け、カフェをスタートさせた。

生徒たちは客が訪れると「いらっしゃいませ」と元気な声を出し、スクールの担当者からコーヒートの入れ方や、パスタのゆで方を教わりながら、心を込めて調理した。会計の後には「またお越しくださいませ」と深々とお辞儀をしていた。

(田中浩貴)